

事務事業 No./名称	■サービス部門 都整-28 雨水施設維持管理事業				ザイムスコード及び個別事業名		
	□支援部門 浄化センター 関連課 河川課				1146	雨水施設維持管理事業	
主管課	浄化センター 関連課 河川課						
分野名	下水道・河川						
目標 (目標値)	大雨や台風による洪水や溢水から市民の生命・財産を守る						
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考			
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)			
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯				
運営資源 状況	決算値	18,195千円	11,569千円		指標と評価		
	(国・県)				指標	雨水調整池の点検	
	(負担金等)				評価	◎	
	(一般財源)	18,195千円	11,569千円		◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		
	人員配置数	0.5人	1.2人			目標値	実績値
	人件費	4,469千円	10,840千円		20年度	7箇所	7箇所
	協働の パートナー	神奈川県・横浜市	神奈川県・横浜市		21年度	7箇所	7箇所
事務事業 運営経費	総事業費	22,664千円	22,409千円		22年度	7箇所	
	市民1人当 りの経費	128円	127円		23年度	7箇所	
	対象者1人 当りの経費				最終年度 (年度)	7箇所	
ベンチマー ク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名						
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・機器類の延命化を行っているが、限界があり更新・取替等が必要である。既定予算範囲では機器の性能を十分に発揮することが困難となりつつあり、近年の都市型水害や大雨等の被害を防止できなくなる恐れがある。					
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・老朽化した機器類の維持に努め、突発故障の防止を図った。					
	未解決の課 題・問題点	・21年度同様、更新・取替まで老朽化した機器類の維持に万全を期す。					
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ・都市型災害や台風時に、雨水調整池(自然流下方式・ポンプ排除方式)が正常に稼働できるように施設改修及び維持管理についてコスト意識を考慮しつつ進めていく。					
一次評価(課長評価)				二次評価(部長評価)			
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了							
評価結果	改善の必要性	・雨水調整池やゲート類等の管理施設の特異性から、施設の老朽化に伴う点検等の維持管理に要する経費の増大は避けられない状況にあることから事業の拡充・拡大を図る。		評価結果	改善の必要性	・管理施設の維持管理について、計画的に推進する。	
A	有			A	有		
課長名		浄化センター所長 原 秀広		部名・部長名		都市整備部 山内廣行	